

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



↑
暑気払いの様子（上が司会陣、下が乾杯のあいさつをする小熊さん）

目次

- ☆暑気払い感想・・・・・・・・・・・・・2
- ☆暑気払い感想・・・・・・・・・・・・・3
- ☆今月の出来事・・・・・・・・・・・・・4
- ☆クラブ活動報告 & クラブボランティア募集・・・・・・・・・・・・・4～6
- ☆ボランティア募集・・・・・・・・・・・・・7・8
- ☆区民祭りで販売する献品大募集・・・・・・9
- ☆写真募集のお知らせ・・・・・・・・・・・・・10
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）
第74回
「全盲ろうの人の言葉の学習」
・・・・・・・・・・・・・11・12
- ☆寄付のお礼・・・・・・・・・・・・・12
- ☆敬事の料理コーナー・恵司のつぶやき
・・・・・・・・・・・・・13
- ☆メンバーのつぶやき・・・・・・・・・・・・・14・15
- ☆所長のためいき・・・・・・・・・・・・・16

2018年 9月号

8月4日 (土)

暑気払い感想

私は初参加ながら光栄にも乾杯の音頭をとらせていただきました。拙いスピーチではありましたが無事大役を果たすことができたと思います。

当日はボランティアさん達も参加して、クイズ、ビンゴゲーム、新メンバーの紹介等で大いに盛り上がり、メンバーもボランティアさん達もみなさん本当に楽しそうでした。

当日は私も上機嫌でビール2本とシャンパングラス一杯も飲んでしまいました。普段口数の少ない私ですが酔った勢いもあって普段あまり話さないメンバーや初めて会うボランティアさんとも楽しく話すことが出来ました。

唯一心残りだったのは職員の方々と一緒に飲めなかったことです。酒を飲みながら色々語り合ってみたかったのですが、送迎や諸般の事情でやむを得ないアムとはいう非常に残念です。



↑みんなの質問に答える小熊さん



↑笑顔の司会陣（前方左が柳川さん）

司会は朝生さんと齊藤さんと柳川でした。小熊さんの声でみんな乾杯しました。それから、食事でした。4つクイズを出しました。すこし難しいかったです。ビンゴ大会はもりあがりました。商品は全員に当たりました。最後に田中会長さんが挨拶しました。

小野塚さんと田中先輩にビールが当たりました。お友りは喜びました。太田さんはビールを飲んでました。松本先輩はいくら寿司とフライドチキンを食べました。

8月4日（土）暑気払い感想

はじめての納涼会でした。初めは、すごく緊張しましたが、だんだんなれてきて楽しくなりました。食事の準備も良くて、素敵な食事もいっぱいあって、おいしくいただきました。美味しかったです。
クイズもあって、楽しかったです。
私の質問があって嬉しかったし、楽しめました。
ビンゴゲームもやってハラハラドキドキしながら、楽しかったです。賞品もあって楽しかったです。

廣瀬依生



←みんなの質問に答える廣瀬さん



↑懐かしい顔も来てくれました。（真ん中は石神さん）

今月の出来事

8月6・8日夏体験ボランティアとして女性の方1名が来られ工房の内職の仕事の手伝いと定期健康診断の介助をしてくださいました。

8月11日～16日夏季休暇、翌17日活動再開。

夏休み明けの17日～箱作りの内職を工房で作業しています。10月に行われる区民まつりに向けて和紙ハガキの生産をしています。

9月8日に実施される「外に出よう」の打ち合わせ（何処に行きたいか・行こうか）を時間のあるときに各班でしました。

8月27日・28日城南特別養護学校の高2の生徒1名と先生、親御さんが訪問され見学と所長から施設の説明を受けていました。

三木 直人



風の子会の紙すき職人SAITO（左）と内職中の工房の皆さん。

クラブ活動報告 8月25日 & クラブボランティア募集

毎月1回、最終土曜日13時00分～15時30分まで、クラブ活動を行っています。そこで、一緒にやってくれるボランティアを募集しています。手芸部の手伝い（デザインを考えてくれる人・一緒に作ってくれる人）を募集しています！！

8月25日にクラブ活動で手芸部でマフラーができました。3つつくりました。



朝生孝之

手作りの作品を身に着けての記念撮影（左）と何かを一心不乱になって作る朝生さん。（右）



クラブ活動報告 8月25日 & クラブボランティア募集

料理部の手伝い(障がい者の調理補助・買い出し・片付けなどをしてくれる人)を募集しています！！

8月の料理部は準備期間が足りずに2度目のお出かけとなった。場所は葛西臨海公園。高速に乗ればあっという間の距離だし、駐車場代も入園料もフリーパスで入れる、風の子のお出かけには都合のいい場所だ。園内では水族館を楽しんだ。いろんな魚が活発に泳いでいた。暑い夏の日に涼しい水族館は最適だ。観終わったあとのビールもまた格別にうまかった。その後、観覧車に乗りに行こうとしたのだけれど時間がないので諦めた。次に行く機会があれば乗ってみたいと思う。



小野塚 航

←写真手前より、松本 成子さん(通称母ちゃん)
真ん中、小野田さん。
奥の人物が小野塚さん。

マーじゃん部の手伝い(教えてくれる人・一緒に参加してくれる人)募集しています！！

8月25日土曜日、恒例のクラブ活動が行われ、私はいつもの3人のメンバー(太田さん、掛橋さん、聡君)と麻雀をしました。

結果は、僅少差ながら太田さんが勝利を収めました。

他のメンバー2人、特に聡君は非常に悔しがっていましたが、私は、充分満足する事が出来ました。なぜなら、麻雀には勝つ事とは別に自分の好きな役でアガルという楽しみがあり、今回その一つ、一気通貫でアガれたからです。

これはその名の通り、同じ種類の牌を一から九まで揃える役です。上級者にはさほど珍しくなく点数もそれほど高くないのですが、その見た目が美しくこの役でアガれた事で近年稀な快感を味わう事が出来ました。

アガリ牌を捨てた掛橋さんには気の毒でしたが、ロンと叫んだ瞬間、思わずガッツポーズががでてしまいました。

次の麻雀では是非、役満でアガリ大勝利といきたいものです。

小熊 健

クラブ活動報告 8月25日 & クラブボランティア募集

風の子会でクラブ活動がありました。今回のぶらり部はお台場に行きました。メンバーは松本先輩と広瀬さんです。ラウンドワンでボーリングしました。二人は強かったです。松本先輩と広瀬さんが勝ちました。ボーリングは台を使って玉を転がします。音楽も流れてました。

柳川 敬事



↑ 台を使ってボーリングをする松本恵司さん



台を使ってボーリングをする廣瀬さん(上の写真と)、柳川さん(右の写真)



私は、先月のクラブ活動で1963年製作されたアメリカ映画『ローマの休日』のDVDを観ました。オードリー＝ヘップバーン主演、グレゴリー＝ペック、エディ＝アルバート等が出演している作品です。映画らしい映画を久々に観ました。

三木 直人

← 名作を鑑賞する三木さん。
白黒だが、未だに色あせることのない作品。

名作に浸る姿がなんだか素敵ですね。 →



ボランティア大募集！！

あなたに手伝ってほしいこと(日中活動)

①、昼食の介助・トイレの介助 (午前11時30分～午後4時00分)

②、作業の手伝い

③、作業の工夫の相談

→
内
職
中



↓ ボランティアさんと内職作業中



④、買い物の手伝い(メンバーの付き添いの手伝い)



⑤、昼食後の食器洗い・そうじ・洗たくなどの手伝い（午後1時00分～4時00分）

⑥、外出・散歩の手伝い（近所の公園に行く・散策をする）

⑦、行事の手伝い（旅行や水曜レクリエーションなどの参加や下見にも行く）



↑お昼ごはんの様子

⑧、留守番・電話対応（職員が送迎に出てる間の留守番，午前9時00分～11時30分）

⑨、福祉車両の助手（午前9時00分～11時30分）

→
車
か
ら
の
乗
降



⑩、人生相談（僕たちの悩みを聞く手伝い）

皆さんの空いた時間で良いので、ご協力をよろしく願いしま～す！！！！

区民祭りで販売する献品大募集！！

先月号に引き続き、10月に行われる区民祭り、ヒューマンプラザ祭りで販売する献品の募集をおこないます。家の奥に眠っている不要品を献品として風の子会に下さい。特に文庫本・衣服大歓迎です。

風の子会のみinnで精一杯販売しますので、よろしくお願いしinn。

●献品として使用できるもの

・文庫本、衣服（新品、または新品同様なもの）、食器（セットになっているもの）

●献品としてダメなもの

・家電製品、CD、DVD

・汚れ、毛玉がついてる衣服

・コミックや専門的な本、図鑑など。表紙がハードカバーのもの

・セットになっていない食器

・欠けている、もしくは汚れている食器

送り先

特定非営利活動法人 風の子会

〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

港区在住の方はこちらから取りに伺います。（時間は応相談）

港区外の方は、献品を送ってください。

※送料は申し訳ございませんが、自己負担でお願い致します。

詳しいことを確認したい方は下記までお電話下さい。

TEL:03(6809)4001

担当:平沼



↑ 区民祭りに出す献品を選別している掛橋さんとボランティアさん

献品を選別してくれるボランティアさんを募集していまーす！！

写真募集のお知らせ

現在風の子会では、過去～現在までの風の子会の活動などを収めた写真を募集しております。

アナログやデジタル何でも構いませんのでもしお持ちでしたら、風の子会までご連絡、もしくはお送りください。よろしくお願いたします。（なお送って頂いた写真は原則必ずお返しいたします。）

連絡先

特定非営利活動法人 風の子会
〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18
芝浦日新ビル5階
TEL:03(6809)4001 FAX:03(6809)4002
Email:kazenoko@kazenokokai.or.jp
担当:秋葉 博

例えば下のような写真を募集しています！！古い写真、新しい写真なんでもOKです！！（活動中の写真も大歓迎！！）

2001年、区民祭りの様子



←2018年、料理教室の写真。

バリアフリーよもやま話

第74回 「全盲ろうの人の言葉の学習」 岡本 明

見えなくて聴こえない「盲ろう」という障害に関しては、この連載の第4回と第68回でも触れましたが、「生まれつきの盲ろうの子供は、どうやって言葉を覚えるのだろうか」ということをよく聞かれます。見える、聴こえる子供は、まだ言葉を知らなくても、お母さんが「ほら、ワンワンよ。」などと話しかけると、犬を見てワンワンというのが犬のことだと自然に理解するようです。でも盲ろう児は触るしか情報が無く、自然に言葉を覚えるのは難しそうです。

今回は、生まれつきではありませんが、ごく小さいときに病気で盲ろうになったために、いったん少しは覚えたと思われる言葉もすっかり忘れてしまった盲ろう児に、言葉やものの概念を教えることに日本で最初に成功した例をお話します。

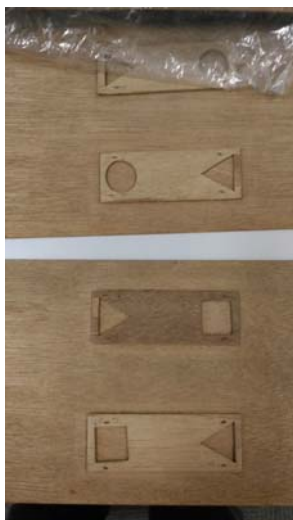
昭和25年から26年に、山梨県立盲学校に二人の盲ろう児が入学しました。2歳のとき発熱して失明、失聴した4歳の男の子と、3歳で高熱のため失明、失聴した7歳の女の子です。

二人とも盲ろうになってからは何も教育されず、言葉を忘れ、歩行、食事、用便などのしつけもされておらず、野生児同然だったので、教育はまず日常の基本的習慣づけからでした。指示は身振りサインです。これには昼夜24時間を通した献身的な指導が行われ、やがて歯磨きや手洗い、食事、着替えなどもできるようになりました。

次は言葉を教えようと、点字の教育が始められました。好きな飴や菓子に、「あめ」「かし」と点字で打ったカードを貼るなどして、点字と物との結び付けの訓練が忍耐強く続けられました。しかしこれはなかなか進まず、教員たちには諦めが強まっていきました。

そんな中、東大の梅津八三教授が山梨盲学校に来て、この二人に出会いました。そして専門の心理学の知識から、言葉の教育は違う方法を考えるべきだと直感したそうです。言葉を使うことは人に先天的に備わった仕組みで、盲ろう児も適切なきっかけを与えればその仕組みが動き出すと考えたのです。

梅津教授は、いったん点字から離れ、まず物の形には丸、四角、三角などの種類があって、それぞれ意味があることを理解する訓練から始め、次に物はその位置にも意味があることを教えました。点字は6つの点の位置によって文字を表すので、これを理解する準備です。これには写真のような、型合わせ板や、鋏で点を打った教材が使われました。見本を見せて、それと同じものを探したり作ったりさせ、うまくできたらご褒美にお菓子をあげる、ということを繰り返しました。これができるようになってからが点字の訓練です。



次ページに続く ➡

バリアフリーよもやま話

← 前ページからの続き

物の名前を打った点字カードと、同じ名前の点字を貼った物を比べて選ばせるのです。やがて物と点字（単語）の対応が分かるようになったのです。単語は徐々に増え、動詞なども学習し、約2年後には文章を書けるようになり、覚えた点字を使って、算数、社会などの教科の学習も行なわれました。続いて声を出す訓練、ローマ字指文字での会話も訓練されました。

それから約60年、今お二人は甲府の施設で、作業をしたり点字を打ったりして元気に暮らしておられます。

このようにして、お二人は奇跡とも思える発達を遂げました。これは科学者の研究と盲学校の先生たちの献身的な教育とが見事にかみ合った成果ということが出来ます。

寄付のお礼

寄付・賛助会にご賛同くださった方
園部 裕千様
大島 冷子様
(順不同)

ご協力ありがとうございました。

田中 聡



ご協力ありがとうございました!!

🌸🌸🌸🌸🌸 献事の料理コーナー 🌸🌸🌸🌸🌸

①、カボチャシチューです。カボチャは包丁で大きめに切って種をスプーンで取ります。電子レンジでカボチャ10分間温めます。タマネギとベーコンも細切りにして、鍋に油を引き材料5分炒めます。温めたカボチャも一緒に炒めます。鍋にしはんのシチューのモトとミルクとコショウ塩をします。10分煮込みます。ご飯にかけて出来上がりです。②、から揚げキャベツ丼です。キャベツをザク切りにします。冷凍食品のから揚げは電子レンジで2ふん温めます。フライパンでキャベツを3分炒めます。味付けはこしょうと塩です。丼にご飯をよそいます。その上に炒めたキャベツと温めたから揚げを乗せます。天たれをかけて出来上がりです。ちなみにタルタルソースでもいけます。

柳川 敬事



🌸🌸🌸🌸🌸 恵司のつぶやき 🌸🌸🌸🌸🌸

かみさかすみれさんもマジで声が好きになりました。
やまかわまいこさんもマジで好きです。
山形放送のアナウンサー。
山形最高



けいじ

←普通の恵司さん。
グラサンでキメッキメの夏の恵司。

愛に生きる男! 松本恵司

夏は終わるが、俺の恋は終わらない!



メンバーのつぶやき（幸）

家では色々な荷物があっちこっちに私に関係ない段ボールなどが置いてあり、それを退かさないと入浴や外出が出来ないと行動がスムーズに出来ないという状態が続いていました。しかし8月中旬から下旬かけて家の粗大ゴミなどを出す準備が始まり、いつの間にか家の中も玄関も荷物がなくなり家が広々となり、どこにでも車椅子で行ける様になりました。家の家族のに感謝致します。ご苦労様でした。有難うございました！7月中旬に元々身体に病気持ちだった義母が認知症になり寝た切りに病院に入院し8月12日（日）85歳の生涯を終えてあの世に旅立っていた。義母は昔に家政婦の仕事をやっていたが、途中で交通事故に遭って仕事が出来なくなり、それからは私達家族の部屋の片付けやお料理を作ってくれました。

私が車椅子生活だった為、私達夫婦の子供達はみんなお産婆さんに来て頂き自宅出産しました。その時に一番よく手伝ってくれた。この日の出来事は私は一生忘れることはないだろ！東京ママ！（義母の事）本当に有難うございました！そしてこの世に産まれてきた子供達へ五体満足で元気いてくれて本当に有難う！今ではそれぞれ独立して自分の道を歩んでいる姿を遠くから見守る事しか出来ないけれど、今のところはみんな問題なく生活して居る様だから、私は安心していきます。

2009年一泊旅行の石和で熱唱する幸さん →



↑ 2018年 会報制作中の幸さん

メンバーのつづやき (三木 & 柳川)

やはり人(動物)は、水を飲まないで3日しか生きられないそうです。成人で50～60%の水でできています。5%を失うと脱水症状が表れ15%失うと生命維持が難しくなり20%失うと…。1日に飲むべき量は1.5リットルとされています。ですからこまめに(数時間おきに)水を飲むことが推奨されている訳ですけど難しいですね。

※室内は、特に脱水に気づきにくいので、気をつけたいです。

※体重×30ミリリットル＝必要とされる水分量 です。



三木 直人

←腕をケガしながらも会報制作をおこなう仕事熱心な三木さん

私は風の子会のパソコンで仕事しています。特撮ヒーローが大好きです。今、見ているのは大戦隊ゴグルVです。体操技で敵を倒します。ゴグルビクトリーフラッシュが技です。ゴグルジェット、ゴグルタンク、ゴグルダンプが合体してゴグルロボになります。ゴグルVは36年にテレビ朝日で放送しました。歌もいいです。ピンクの人がスーパー可愛いです。敵は暗黒科学デスダークです。懐かしいです。

メタルヒーローもいいです。

宇宙刑事キャバン。シャリバン。シャイダーです。皆さんも懐かしいテレビ番組を見て下さい。

柳川敬事

会報記事を作ってる柳川さん



所長のためいき

外に出ようが9月8日(土)に行われました。当日はメンバーの日ごろの行いが良かったのか、天候にも恵まれました。今回は新しく実行委員会を立ち上げ、実行委員を中心に夕会などで話し合いながらみんなで1から作り上げていきました。途中、実行委員になったメンバー、サポートとして入った職員もくじけそうになりましたが、みんなからの愛のある？叱咤激励を受けて、頑張っ成し遂げることが出来ました。感想などは、10月号で特集を組んで発表しますので、お待ちください。

最後になりますが、外に出ように参加して下さったボランティアのみなさん、ありがとうございます！そして実行委員になったメンバー、そしてサポートとして入った職員のみなさん、お疲れ様でした！



実行委員の田中さん、ボランティアの片岡さんとツーショット。←



岡本裕介
実行委員の掛橋さん、終わりのあいさつをやってくれました。←

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

和柳松田小太
栗川本村野田
頭 塚
太敬恵亮 圭
郎事司彦航子

企画編集メンバー

幸三塚田太
木田中田

高直愛
史人基聡稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0022
東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階
TEL 03(6809)4001 FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

